第１章　要請の背景

第１章　要請の背景

1-1　要請の経緯

アンゴラ国（以下「ア」国）は南西アフリカに位置し、国土面積約 125 万平方 km、人口約 1,190 万人（1996 年推定）を有している。1975 年のポルトガルからの独立後、旧ソ連邦・キューバに支援された「アンゴラ解放人民運動（MPLA）」と、米国・南アフリカ国に支援された「アンゴラ全面独立民族同盟（UNITA）」との間で内戦が続けられた。

1991 年 5 月国連の仲介によりアンゴラ包括和平協定（ビセス合意）が調印され、1992 年 9 月国連監視下で総選挙が行われたが、同結果への不満を理由に UNITA が武力行使に出て内戦が再開した。

その後、1993 年 11 月より和平交渉が再開され、1994 年 11 月ルサカ協定が調印され、停戦に至ったものの 1997 年 4 月には、統一国民和解政府が成立し、現在、和平プロセスの義務不履行により国連安保理による制裁決議を受け、和平プロセスの進行が停滞している。

前述の政治状況の下、「ア」国の保健医療の状況は大きな打撃を受け、引き続く内戦と政府の保健医療支出の削減により、多数の医療施設では医療従事者、医療機材及び医薬品等が不足している。そのため「ア」国の保健医療事情はサブサハラ・アフリカの中でも劣悪な状況にあり、保健指標は乳児死亡率（170／1,000 出生）、妊産婦死亡率（1,500／10 万出生）とも同地域平均（105／1,000 出生、979/10 万出生）に対し非常に高い数値を示している。このような状況の中、「ア」国保健省は 1996 年に暫定国家保健計画を策定し、医療施設の整備、従事者の技術向上と充実、母子保健医療サービスの改善を重要課題として位置付けている。特に 1999～2001 年の最優先事項を子供の健康状態の改善としており、プライマリーヘルスケアを国民の保健医療問題の中心課題として取り組んでいる。

日本政府は 1994 年 11 月のルサカ協定により、和平到来の気運が高まったことを受け、保健医療分野に対し「ジョシナ・マシェル病院医療機材整備計画（平成 8 年度）」、「ルクレシアパイム産婦人科病院医療機材整備計画（平成 11 年度）」を実施した。また 2000 年 9 月には「プロジェクト形成調査団（保健医療分野）」を派遣し、プライマリーヘルスケア（一次医療）に対する協力の必要性、計画の有無、施設の現状、他ドナーの協力状況等の調査を行った。これを受け「ア」国保健省は、緊急に整備を必要としている優先度の高い保健センターで、EU 等の他のドナーと重複しない 13 ヶ所のルアンダ州保健センターに対する基礎的な医療機材の整備を、我が国に対し要請してきたものである。

1-2　要請の概要

1-2-1　要請の目的

「ア」国政府は、「国家保健計画」にて指摘している問題点の中で、特に一次医療レベルでの母子保健医療の改善を、2001 年までの最優先事項として取り組んでいる。

特に全人口の約 17%が集中する、ルアンダ州の保健センター（地域の一次医療の中核施設）の整備が、緊急な課題となっており、一次医療強化政策として EU の支援により、5 ヶ所の保健センターの建設および一部の既存保健センターの改修、機材整備を推進している。

本計画では、州保健局が緊急に整備を必要としている優先度の高い保健センターで、尚且つ EU プロジェクトと重複しない 13 ヶ所の既存保健センターを整備することで、ルアンダ州の母子保健分野における一次医療サービスの向上を目的とするものである。

1-2-2　要請の内容

(1) 計画対象施設

本計画の対象施設は、ルアンダ州内の 13 ヶ所の保健センターである。

原要請の計画対象施設

①	イリャア保健センター	インゴンボタ郡
②	サンビザンガ保健センター	サンビザンガ郡
③	ランジェル保健センター	ランジェル郡
④	テラノーバ保健センター	ランジェル郡
⑤	カタンボール保健センター	マイアンガ郡
⑥	カスキエル保健センター	マイアンガ郡
⑦	シガ保健センター	カゼンガ郡
⑧	カリアンゴ保健センター	カゼンガ郡
⑨	ネベス ベンディーナ保健センター	キランバキアシ郡
⑩	サンバ保健センター	サンバ郡

現地調査時に追加要請された計画対象施設

⑪	バイロ オペラリオ保健センター	サンビザンガ郡
⑫	プレンダ保健センター	マイアンガ郡
⑬	キナンガ保健センター	サンバ郡

(2) 要請機材

本計画にて整備要請を受けている機材は 60 品目で、その内容は以下の通りである。尚、要請機材の中で携帯用歯科ユニット、分光光度計、自動電圧安定装置、および発動発電機については、現地調査時の「ア」国側との協議により最終的に追加要請機材とされたものである。

1. 外来部門（22 品目）

聴診器、血圧計、器械戸棚、器械台、検診台、検診灯、体重計（大）、体重計（小）、胎児心音計、診断セット、検診用器械セット、乾熱滅菌器、煮沸消毒器、蘇生器、車椅子、歯科用椅子ユニット、フィルム現像機、歯科用Ｘ線装置、歯科用器械セット、乾熱滅菌器、器械戸棚、**携帯用歯科ユニット**

2. 分娩部門（17 品目）

観察用ベッド、分娩台、検診台、検診灯、吸引器、足踏台、器械戸棚、器械台、手洗い台、コット、分娩器械セット、体重計（大）、体重計（小）、乾熱滅菌器、煮沸消毒器、血圧計、聴診器

3. 放射線部門（6 品目）

Ｘ線撮影装置、フィルム現像機、フィルム乾燥器、フィルムハンガー、フィルム保管戸棚、防護エプロン

4. 臨床検査部門（13 品目）

双眼顕微鏡、遠心分離器、微量遠心分離器、赤血球沈降速度測定器、自動タイマー、白血球計数器（手動型）、恒温槽、インキュベータ、振とう器、薬品用冷蔵庫、乾熱滅菌器、ガラス器具、**分光光度計**

5. その他（2 品目）

自動電圧安定装置、発動発電機

第 2 章　プロジェクトの周辺状況

第２章　プロジェクトの周辺状況

2-1　当該セクターの開発計画

2-1-1　上位計画

(1) 国家保健政策

長引いている内戦により、アンゴラ国では地方から都市への人口移動（約 60 万人）を余儀なくされ、社会・経済機能の破壊を招いた。政府は現状を改善するため平和維持活動に努めるとともに、内戦で生じた難民や、移住者を旧来の土地に帰還させて生計を立てさせ、社会・経済機能の復興に努力している。特に保健医療分野では荒廃した施設を補修し、機能の回復に努めている。

その中でアンゴラ国保健省は、1996 年に暫定的に「国家保健計画」を策定し（未だ明文化はされず）、現在これらの計画案に従って改善策が進められている。右国家保健計画にて取り上げられている重点施策は、以下のとおりである。

【国家保健計画の重点施策】

① 医療施設のサービスの向上

② 母子保健の改善

③ 感染症対策

④ 医療従事者の養成

(2) 妊産婦保健計画

1998 年には保健省の母子保健促進部により、妊産婦保健に関連した開発計画として「妊産婦保健計画」が策定され、短期、中期および長期の目標を打ち立てて、右政策の実施に取り組くんでいる。

〈長期計画目標〉

・母子の疾病による死亡率を、2005 年までに 30%減少させる。

〈中期計画目標〉

・全国 18 州内で、特定州を妊産婦保健計画の推進州と定め、母子の死亡率低減計画の早期実現を図る。

〈短期計画目標〉

・中央レベルにおける妊産婦保健計画に係る担当職員の管理能力を高め、計画、監督および評価に関する技術向上を図る。

・妊産婦保健計画に関する方針・基準・活動のガイドライン、情報システム、サービスの有効的な運営の内容を公開し、妊産婦保健に関する資機材等を整備することによって、国全体の妊産婦保健サービスを標準化させ、発展させる。

・妊産婦保健計画の促進州に対する補助、援助を実施する。

2-1-2　財政事情

(1) 国家予算

「ア」国の国家予算は後述の「第３章　3-4-2　(1)」を参照。

(2) 分野別の財政支出

「ア」国の分野別の財政支出は後述の「第３章　3-4-2　(2)」を参照。

2-2　他の援助国、国際機関等の計画

「ア」国の保健医療分野に対する最近の援助動向は、次のとおりである。

2-2-1　他の援助国の動向

(1) ＳＩＤＡ

①母子保健医療システム改善プロジェクト（1977 年～現在）

1997 年からスウェーデン政府は、継続して「ア」国の母子保健および衛生に関する援助を地方都市で展開している。母子保健医療の一次医療施設「母子保健ポスト」を中心に医療従事者の人材育成、基礎的医療機材・医薬品の提供等、年間 200～300 千ドル相当額を継続援助している。

②ルクレシアパイム産婦人科病院感染症対策プロジェクト（2000 年）

「ア」国の母子保健医療分野で、最大の問題となっている妊産婦及び乳幼児死亡率の劣悪な状況を改善するため、同国保健省と協力して推進している。同死亡率の原因の一つである分娩時における感染症対策のため、母子保健医療のトップレファラル医療施設であるルクレシアパイム産婦人科病院の施設改修計画を実施した。

(2) ＥＵ

①保健センター整備計画（2000 年 12 月～）

ルアンダ州における新規５ヶ所の保健センター建設を中心に、一部の既存施設に対する改修および機材整備の実施を予定している。援助の支援内容は、以下のとおりである。

-1.新設施設

・マイアンガ郡のカスキエル地域北部に１ヶ所の保健センターを建設

・カゼンガ郡のクウカ、カゼンガ、タラ-ハディ地域内に各 1 ヶ所、計３ヶ所の保健センターを建設

・カクアコ郡のカクアコ地域南部（キコロ村）に１ヶ所の保健センターを建設

-2.既存施設

・サンビザンガ郡のンゴラキュアンジェ保健センターの改修

・ビアナ郡の保健ポスト(施設名：km30　Health　Post)の改修

2-2-2　国際機関の計画

（1）UNFPA

UNFPA は 1997 年より「ア」国の保健省、教育省、各市政府等の連携の下、現在劣悪な環境におかれている青少年の環境改善をすべく「青少年に対する性教育・保健改善計画」を推進している。尚、2000 年の援助額は 498 千米ドルで、以下の援助を実施した。

①カクアコ州、ベンゲラ州等 6 都市地域内に、８ヶ所の保健ポスト（青少年を対象）を設立

②８ヶ所の学校における教師 160 人の再教育（性教育・家族計画等の教育）

（2）UNICEF

「ア」国の現在の保健医療分野における UNICEF の役割は、子供と母親の健康状態の向上を目指し、国家組織の努力を補完するための一連の活動という形で支援している。このような活動はとりわけ保健・医療の範囲拡大、国家レベルの活動能力の強化、基本的医療機材の普及、保健知識の不足した国民への意識レベルの向上を目標としている。

プログラムの実施に際しては、初期段階では、大半の活動をとりわけルアンダからナミベまでの沿岸地域に集中させ、その後徐々に 18 州全域に活動を広げていく計画である。

UNICEF の活動は以下の主要４分野に向けられている。

①基本保健対策：

マラリア予防、結核、百日堰、新生児破傷風に対するワクチンの普及率向上、急性下痢性疾病の管理

②栄養および食物の安全：

ビタミンＡ摂取、食物補充および地元の穀物生産支援を特に重視

③水供給：

日常消費、個人消費および家庭衛生のために十分な量および質の確保

④教育：

戦争でショックを受けた子供たちの精神的、社会的ニーズを満たすことを目標

2-3　我が国の援助実施状況

「ア」国の長年にわたる内戦状態のため、我が国の援助は国際機関を通じた緊急・人道的援助、草の根無償資金協力、研修員受入等に限定されてきた。

1994 年 11 月のルサカ協定に伴い、我が国は 1995 年 6 月、無償資金協力及び技術協力に関する政策協議を実施し、内戦後の復興のための基礎的生活分野（BHN　分野）及び基礎インフラの復旧・整備等につき議論された。これを踏まえ、食糧援助、食糧増産援助に加え、BHN　分野、インフラ分野の無償資金協力ならびに研修員受入、開発調査等の技術協力が実施されることとなった。

また、近年の内戦の再燃に伴い、「ア」国の実施体制や治安状況等に鑑み、アンゴラ難民及び国内避難民等を支援すべく、UNHCR、UNICEF、ICRC、WFP、IOM 等の国際機関を通じて緊急無償資金を供与している。

一般無償資金協力による保健医療分野の援助実績としては、平成 8 年度「ジョシナ・マシェル病院医療機材整備計画」、平成 11 年度「ルクレシアパイム産婦人科病院医療機材整備計画」があり、同国の三次医療を提供する総合病院と産婦人科病院の機材整備が実施された。

表 2-1　我が国の「ア」国への援助実績

年度	無償資金協力	技術協力
平成８年度	11.76 億円 食糧援助　(7.00) 食糧増産援助　(3.00) ジョシナ・マシェル病院医療機材整備計画 (1.66) 草の根無償（1 件）　(0.10)	1.70 億円 研修員受入　３人 調査団派遣　５４人 開発調査　１件
平成９年度	22.83 億円 ルアンダ電話網改善計画（1／2 期）(4.00) ルアンダ低所得者用住宅建設計画　(1.39) 緊急無償復興開発支援　(0.10) 草の根無償（1 件）　(4.80) 食糧増産援助　(4.00)	3.08 億円 研修員受入　９人 専門家派遣　２人 調査団派遣　３８人 開発調査　２件
平成 10 年度	25.26 億円 ルアンダ電話網改善計画（2／2 期）(9.90) ルアンダ電話網改善計画（1／2 期）(9.19) 緊急無償地雷犠牲者支援（ＩＣＲＣ経由） 緊急無償難民・避難民救済（国際機関経由） (4.17) 食糧増産援助　(2.00)	4.17 億円 研修員受入　９人 専門家派遣　１人 調査団派遣　１５人 開発調査　２件
合計	１９９８年度までの累計　90.78 億円	10.43 億円

2-4　保健医療事情

2-4-1　一般保健衛生

「ア」国の総人口は約 1,190 万人（1996 年の推定）で、人口増加率は約 3%程度、平均寿命は 47 歳（男性 45 歳、女性 50 歳）となっている。人口構成は、15 歳未満が 45%、15 歳～64 歳が 52%、65 歳以上が 3%で、典型的な若年型人口構成という特徴を持っている。

尚、当該国および周辺国の保健衛生指標は次のとおりである。

表 2-2　「ア」国及び近隣諸国の保健指数

統計項目	統計年度	アンゴラ	コンゴ民主共和国	ザンビア	ジンバブエ	ナミビア	ボツワナ	南アフリカ	平均
GDP.1人当り(ドル) *1	1996	610	150	370	670	2,040	3,340	3,360	1,506
人口(千人) *2	1997	10,547	47,590	9,365	10,915	1,596	1,432	42,209	17,665
人口増加率(%) *2	1997	3.06	2.85	2.06	1.22	1.63	1.18	1.52	1.93
人口増加率10年間(%) *2	1980-90	2.2	3.0	3.5	3.3	3.7	3.7	2.4	3.1
出生率(人口1000人当り) *2	1997	44.11	47.21	44.76	32.01	36.07	32.57	26.96	37.67
死亡率(人口1000人当り) *2	1997	17.24	15.44	22.56	19.79	19.73	20.81	11.76	18.19
平均寿命(歳) *2	1997	47	49	37	39	42	40	57	44
乳児死亡率(1000人当り) *3	1997	170	104	93	62	68	59	52	87
5歳以下児童死亡率(1000人当り) *4	1996	292	207	202	73	77	292	66	173
妊産婦死亡率(10万件当り) *2	1990	1,500	870	940	570	370	250	230	676
1病床当りの人口 *5	1990	774	702	-	1,959	-	635	-	1,018
医師1人当りの人口 *6	1990	23,725	15,150	10,917	7,384	4,328	5,159	1,589	9,750
エイズの報告件数 *7	1996	1,296	29,434	33,942 (1997)	61,037 (1997)	6,784 (1997)	5,337 (1997)	12,825	21,522

*1:国際復興開発銀行(IBRD);世界銀行データベース,1998;/経済協力開発機構(OECD), *2:アメリカ商務省国勢調査局・国際プログラムセンター;国際データベース,1998, *3:国際戦略研究所;『軍事バランス 1997/98』,1997, *4:ユニセフ;データベース,1998, *5:国際復興開発銀行(IBRD);世界銀行データベース,1998;/国際通貨基金(IMF), *6:国際復興開発銀行(IBRD);世界銀行データベース,1998;/世界保健機関(WHO);データベース, *7:世界保健機関(WHO);『週刊疫学レポート』,1997/11/28号

上記保健衛生指標に示される様に、当該国の死亡率は 17.24 / 1,000 で、近隣諸国の平均値とほぼ同値となっているが、妊産婦死亡率 1,500 / 10 万および乳児死亡率 170 / 1,000 は、近隣諸国の平均値の 2 倍近い高い数値を示している。

2-4-2　疾病構造

「ア」国では、途上国にみられるマラリア、下痢症、呼吸器系疾患等の感染症が多く、このような疾病構造の背景には、長引いている内戦の影響による生活環境の悪化、公的医療施設の整備の遅れ、医療サービス体制の未整備等が、その一因と考えられている。

主要疾病の中で、前述のマラリアは疾病全体の約 66%、急性下痢症は約 16%、また急性呼吸器系疾患は約 12%で、これら上位３つの疾病にて、実に全体の 90%以上を占めている。

特に、乳幼児は栄養不良による体力の低下で、マラリアや呼吸器系の感染症を患うことが多い。

表 2-3　10 大主要疾病（2000 年度）

順位	疾病名	症例数	罹患率
1	マラリア	1,318,087	66.08
2	急性下痢症	318,734	15.97
3	急性呼吸器疾患	246,347	12.35
4	結膜炎	24,342	1.22
5	腸チフス	22,486	1.12
6	住血吸虫	17,440	0.87
7	泌尿生殖器の感染症	5,719	0.28
8	結核	5,691	0.28
9	肝炎	3,844	0.19
１０	その他	17,758	0.89

（出典：保健省　質問書回答）

下表、同国の公的医療施設における 1997～1999 年の主要疾病数の推移をみると、徐々にではあるが改善傾向にあり、今後もマラリア対策や予防接種等の拡大は継続する必要性が高い。尚、本計画の対象地域も、全国統計とほぼ同じような傾向にある。

表 2-4　公的医療施設における疾病の推移

疾　病	1997年		1998年		1999年	
	ケース	死亡数	ケース	死亡数	ケース	死亡数
マラリア	1,676,061	7,991	1,485,350	6,314	1,322,688	8,756
急性呼吸器感染症	414,976	1,135	322,522	867	304,999	931
下痢症	304,366	1,467	300,549	1,616	273,240	1,236
黄疸	35,986	-	4,032	39	24,342	14
眼性疾患	39,060	-	14,909	-	-	-
合 計	2,470,449	10,593	2,127,362	8,836	1,925,269	10,937

（出典：保健省）

1999 年度の主要死亡原因としては、前述の疾病傾向の順位同様にマラリア（72%）、急性下痢症（10%）、急性呼吸器疾患（8%）が上位 3 位を占めており、死亡原因全体の約 90%に相当している。

表 2-5　10 大主要死亡原因

順位	疾病名	死亡原因に占める比率
1	マラリア	72.47 (%)
2	急性下痢症	10.18
3	急性呼吸器疾患	7.81
4	肝炎	2.55
5	肺結核	2.01
6	はしか	1.53
7	腸チフス	0.73
8	髄膜炎	0.56
9	破傷風（新生児）	0.49
１０	その他	1.65

（出典：保健省　質問書回答）

保健省の統計資料によると、妊産婦および乳幼児（5 歳未満）の疾病傾向、死亡原因も前述の傾向とほぼ合致している。僅かながらの違いとしては、妊産婦死亡原因の第 3 位に麻疹が、第 4 位には急性呼吸器系感染症が入っているが、数値的に大きなひらきは無い。

下記に公的医療施設における妊産婦及び 5 歳未満の乳幼児の死亡原因を示す。

表 2-6　公的医療施設における妊産婦の死亡原因

疾　病　名	1997 年	
	ケース	比率
マラリア	4,272	68.88
下痢症	742	11.96
麻疹	655	10.56
急性呼吸器系感染症	403	6.50
その他	130	2.10
合　　計	6,202	100

（出典：保健省）

表 2-7　公的医療施設における乳幼児（5 歳未満）の死亡原因

疾　病　名	1997 年	
	ケース	比率
マラリア	135,879	46.46
急性呼吸器系感染症	95,046	32.50
下痢症	46,544	15.92
その他	14,985	5.12
合　　計	292,454	100

（出典：保健省）

2-4-3　医療行政と医療体制

「ア」国は行政機構上、全国 18 州（163 郡、532 市町村）から成り立っている。医療行政では、中央保健省が管轄する三次医療レベル、また各州保健局が管轄する二次、一次医療レベルに分けられる。同国の保健医療サービスは、まだ公式には有料診療システムに移行されてはいないが、国家予算に占める保健医療分野への分配（国家予算の約 3.6%）が厳しい現状から、一次医療、二次医療、および三次医療とそのレベルを問わず、一部の診療については受益者負担が国民に浸透し始めている。

(1) 医療行政

当該国の保健医療に関する政策の立案と予算計画、長期開発の戦略策定、および首都圏に配備されている国立の医療施設や機関の運営管理は、中央の保健省が管轄している。

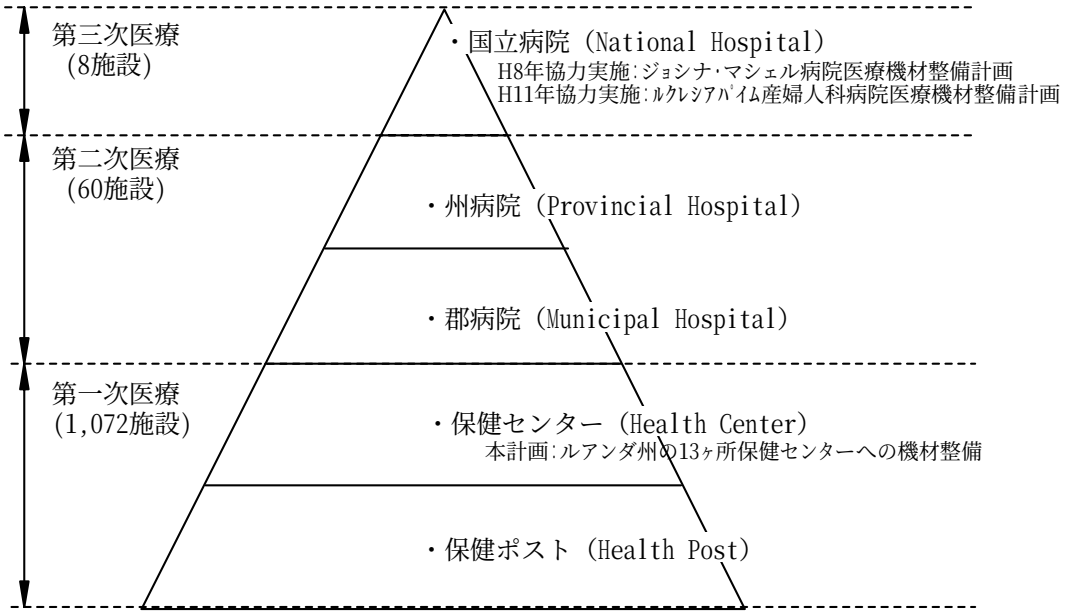
地方の医療行政（州レベル）は、州保健局が保健省の指針に沿った保健政策等を各州レベルにて策定し、運営管理等の責を担っているが、組織的には中央保健省の管理下に置かれている。尚、各州保健局は、州レベルに配備されている医療施設 / 機関を直接管理している。

(2) 医療体制

「ア」国における保健医療サービス体制は、中央、地方を含めた公的な医療機関、民間の医療機関（営利を目的）および NGO の医療団体によるものに大別される。公的医療施設は全国に約 1,140 ヶ所、民間医療施設は約 120 ヶ所となっており、全体の約 90%を公的医療機関が占めていることから、実質的に同国では公的医療施設が、保健医療サービスの責を担っている。

当該国の保健医療サービスのシステムは、下記のチャートのとおり構築されており、一次医療から三次医療までの各レベルに分けて、医療サービスを提供する体制となっている。三次医療レベルを担う国立病院・専門病院を頂点に、二次医療サービス提供の州病院と郡病院、更に一次医療サービスの保健センターと保健ポストが配備されている。尚、我が国は「ア」国医療施設に対し、過去 2 回の無償資金協力を実施している。

図 2-1　医療体制のチャート



（出典：保健省資料）

国立病院：

全て首都ルアンダに配備され、総合病院 2 ヶ所（ジョシナ・マシェル病院、アメリコ・ボアビダ病院)、専門病院 6 ヶ所（整形、産婦人科、小児科、結核、リハビリ、精神科の専門病院）がある。尚、これらは第三次医療施設としての機能と教育病院としての役割を担う施設である。

州病院 / 郡病院：

地方レベルに配備されている中核病院で、各々手術部、臨床検査部、放射線部等を有する第二次医療施設である。

保健センター / 保健ポスト：

基本的に保健センターは無床の施設が多いが、一部の施設には有床のものもある。保健センターは、外来の診療が中心で、地域の一次医療の中核的な役割を果たしている。一般外来として内科、救急、産科、婦人科、小児科、臨床検査科等を有するが、妊婦の分娩を扱う施設もある。

保健ポストには常駐医師はおらず、看護婦（士）が活動の中心で、ワクチン接種等が主な業務となっている。

尚、「ア」国の公的医療施設の州別配備状況は、次表 2-8　州別医療施設数に示すとおりである。

表 2-8　州別医療施設数

州名	国立病院	州・郡病院	保健センター	保健ポスト	合計
1.ベンゴ	-	2	3	41	46
2.ベンゲラ	-	10	32	136	178
3.ビニ	-	1	3	14	18
4.カビンダ	-	4	23	127	154
5.ｸﾜﾝﾄﾞ･ｸﾊﾞﾝｺﾞ	-	3	-	69	72
6.ｸﾜﾝｻﾞ･ﾉﾙﾃ	-	2	12	34	48
7.ｸﾜﾝｻﾞ･ｽﾙ	-	7	27	100	134
8.クネネ	-	2	7	61	70
9.ウワンボ	-	7	20	14	41
10.ウイラ	-	1	19	73	93
11.ルアンダ	8	4	27	13	52
12.ﾙﾝﾀﾞ･ﾉﾙﾃ	-	5	3	6	14
13.ルンダ・スル	-	-	6	43	49
14.ナミベ	-	3	8	40	51
15.マランジェ	-	1	7	8	16
16.モシコ	-	3	4	19	26
17.ウイジェ	-	2	1	47	50
18.ザイレ	-	3	4	21	28
合計	8	60	206	866	1,140

（出典：保健省、1999 年資料）

（3）医療従事者

「ア」国における総医師数は 870 名弱で、諸外国と比較してもその人数は極めて少なく、総数の中の約 65%がアンゴラ人医師で、残りの 35%が海外からの派遣医師にて構成されている。外国人の派遣医師は、ベトナム、キューバ、及び旧ソ連圏の諸国等が多く、これらの協力を受けながら、保健医療サービスを提供しているのが現状である。尚、看護婦、薬剤師、検査技師等を含めた保健医療従事者を「表 2-9　州別医療従事者の状況」に示す。

表 2-9　州別保健医療従事者の状況

州名	医師	看護婦	助産婦	薬剤師	検査技師	合計
1.ベンゴ	10	183	105	-	-	298
2.ベンゲラ	50	1,598	62	7	38	1755
3.ビニ	7	747	75	1	12	842
4.カビンダ	60	525	73	7	63	728
5.ｸﾜﾝﾄﾞ･ｸﾊﾞﾝｺﾞ	4	62	16	-	-	82
6.ｸﾜﾝｻﾞ･ﾉﾙﾃ	13	282	160	-	-	455
7.ｸﾜﾝｻﾞ･ｽﾙ	19	476	-	2	46	543
8.クネネ	11	337	163	-	16	527
9.ウワンボ	24	653	116	-	-	793
10.ウイラ	44	393	100	-	-	537
11.ルアンダ	532	1,842	80	-	-	2454
12.ﾙﾝﾀﾞ･ﾉﾙﾃ	28	291	57	-	-	376
13.ルンダ・スル	17	177	40	-	-	234
14.ナミベ	18	359	11	33	57	478
15.マランジェ	9	396	51	-	-	456
16.モシコ	8	45	113	-	27	193
17.ウイジェ	10	736	-	10	22	778
18.ザイレ	7	224	51	-	-	282
合計	871	9,326	1,273	60	281	11,811

（出典：保健省、1999 年資料）

- 印：不明

(4) ルアンダ州内の医療サービス現状

同国トップレファラルの国立総合病院（2 ヶ所）および専門病院（6 ヶ所）は、ルアンダ州に集中し、「ア」国に於ける三次医療を一手に担っている。二次医療施設である州・郡病院は、他の人口の多い州と横並び或いは若干多い程度で、全国総数の約 7%に相当する施設が配備されている。一次医療施設に属する保健センターは、全国総数の約 13%程度、また保健ポストは、約 1.5%となっており、施設の配置構成は高度医療への比重が大きくなっている。

また、同国では上記の国公立医療施設に加え、民間の個人病院（クリニック）が 126 ヶ所設置されているが、その殆んどはルアンダ州内に所在している。

これらの医療施設での従事者は、全国総数に占める割合で、医師 61%、看護婦 20%と、その他の州と比較して突出しているが、他の諸外国に比べると人材不足は否めない。

2-5　プロジェクト・サイトの状況

2-5-1　自然条件

（1）地理的条件

「ア」国はアフリカ南部の大西洋に面した国で、北にコンゴ、東はザンビア、南はナミビアに隣接し、南緯約 4～8 度、東経約 12～24 度に位置している。その国土面積は 124 万 6,700Km2（日本の約 3.3 倍）で、沿岸部の平野、中間地帯、内陸の広大な高原など、三地帯に大別される。

沿岸部の平野は、約 50km～160km の幅を有し、中間地帯では平たん面と急崖から形成され、北部で広く、中部から南部にかけては 30km 程度の幅を有している。内陸の高原地帯（エビ高原）は、国土の約 3 分の 2 を占め、その標高は約 1,200m～2,000m となっている。

（2）気候条件

当該国の気候は熱帯性で、5 月～10 月が乾季、11 月～4 月が雨季となっている。首都ルアンダの年間降水量は、388mm であるが、中央高原地帯では、750mm～1,500mm と増大し、モサメデス砂漠に囲まれた地域では約 50mm 程度と急減する。全体的には、北から南に行くほど年間降水量は減少する。

2-5-2　社会基盤整備状況

（1）電力事情

ルアンダ市の中心街への電力供給は、周辺や郊外の地域に比較すると、それほど悪くはないが、全体的には停電も多く、安定して電力の供給を受けることは難しい。

計画対象施設の電気供給は、単相 220V／50Hz、三相 380V／50Hz（公称値）が各施設に供給されているが、停電が頻繁に発生し電力の安定的な供給を期待できる状態ではない。各施設とも発電機による電力確保が現実的であり必須である。

現地調査による電圧測定結果では、単相電源の場合、最高値 249.2V（公称値+13.27%）最低値 196.8V（公称値-10.54%）となり、電圧変動に対処するための対策も必要である。

（2）通信事情

ルアンダ市首都圏においては、有線の通信網の整備を徐々に進めている。一方、ルアンダ市地域に限定すると、無線（携帯電話）の活用が近年盛んになり、第 1 セクター、第 2

セクター問わず、業務では必要不可欠なものとなってきている。しかしながら一般の大衆が、個人レベルで通信の端末を所有するには、まだかなりの時間を要する。

本計画の対象施設においても、13 ヶ所の保健センター中、ネベス ベンディーナ保健センター及びバイオ オペラリオ保健センターのわずか 2 ヶ所で、専用の電話回線を有しているのみで、多くのセンターでは公衆の通信手段を一般大衆と共用している。

(3) 上下水道

ルアンダ市の中心街では、給排水は比較的機能しているが、周辺や郊外では公共水道の水道管が敷設されていない地域や、水道管に水が供給されていない地域など、まだ未整備の地域もあり、継続的に上下水道のインフラ整備は必要である。
本計画の対象施設では、3 ヶ所の施設のみ公共水道に接続し、施設内の水栓から水を使用できる状況にある。その他の施設は、公共水道、または給水車から貯水槽に給水し、必要に応じて水を汲み上げ使用する方法がとられているが、この対処方法が施設運営にあたっての大きな障害にはなっていない。

尚、施設内の水栓から水を使用できない状況にある理由として、給水配管および水栓の盗難、損傷等に対処することが難しく、圧力をかけて水を供給する事が現実的に困難なためである。

2-5-3 既存施設および機材の現状

(1) 保健センターの現状

現在、「ア」国には 206 ヵ所、首都圏のルアンダ州には 27 ヵ所の保健センターがあり、地域住民に対し一次保健・医療サービスの中核施設として活動している。保健センターには有床の施設と無床の施設があるが、一般的には病床を持たない施設が多い。

「ア」国保健省が策定した「国家保健計画」の重点施策に、母子保健医療の改善を掲げていることから、保健センターの一般外来では、内科、婦人科、救急、歯科、放射線科等の診療もさることながら、産科ならびに小児科での妊産婦や乳幼児の定期検診、予防接種、更には家族計画の指導等も盛んに実施されている。

このように地域住民の需要が増す中で、特に人口が集中するルアンダ州では、一次医療強化政策（特に母子保健医療の分野）を早急に実施することが求められ、その一環として EU が新たな保健センターの建設及び既存施設の改修・機材整備等の支援を決定している。

（2）対象保健センターの状況

1)イリャア保健センター

当該保健センターはインゴンボタ郡（半島）に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 15 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 35,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 43,000 人程度となっている。

施設は平屋建の 1 棟構成で、一次医療施設としては大型規模の施設に属する。1990 年にダイヤモンドの公社により建替えられたもので、現在使用している医療機材も全て当時に整備されたもので、それらの老朽化が目立っている。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科（乳幼児含む）、歯科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、分娩、臨床検査、放射線等で、半島住民の代表的な公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-10」に示すとおりである。

2)サンビザンガ保健センター

当該センターはサンビザンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて 25 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 100,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 22,000 人程度となっている。

施設は 2 階建ての主棟と、ＥＰＩおよび歯科診療を行っている付属棟の構成になっている。同施設に比較的近いペディレーラ村に、大統領基金による新たな一次医療施設が建設された。インフラ（給排水・電気）の整備が、まだされていないが建屋はほぼ完成している。現段階では、サンビザンガ保健センターそのものが移転されるのか、或いは新たな一次医療施設として今後運営されていくのか、保健省による最終決定はなされていない。

現行の診療サービスは、内科、救急、産科、婦人科、小児科、歯科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン投与、家族計画、分娩、臨床検査等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-11」に示すとおりである。

3)ランジェル保健センター

当該保健センターはランジェル郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約

30 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 80,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 27,000 人程度となっている。

施設は平屋建の 1 棟構成で、一次医療施設としては中型規模の施設に属する。比較的古い施設ではあるが、職員の努力により、センター内は良く清掃されている。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-12」に示すとおりである。

4)テラ ノーバ保健センター

当該保健センターはランジェル郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 30 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 60,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 104,000 人程度となっている。

施設は平屋建（中庭を囲む構造）の 2 棟構成で、主棟と分娩棟に別れ、一次医療施設としては大型規模の施設に属する。1996 年には EU の援助にて、給水システムの整備がなされ、また分娩部門の棟は、1997 年にスウェーデンの援助により建設され、同時に一部の機材（戸棚、器械台、分娩台等）についても整備された。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査、分娩、放射線部門等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-13」に示すとおりである。

5)カタンボール保健センター

当該保健センターはマイアンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 20 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 90,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 31,000 人程度となっている。

従来民家として使われていた施設を改良して、保健センターに使用している為、施設規模は小型である。診療棟は 2 棟構成で、平屋と 2 階建となっている。入口より近い方が平屋建て施設であり、一般外来と薬局が位置している。奥に位置する 2 階建て棟は、1 階が管理、検査、妊婦検診、2 階が乳幼児検診、ワクチン接種を行っている。幹線道

路より、民家の密集する生活道に入った中に立地しているため、車両のアクセス事情は良くない。

現行の診療サービスは、内科、産婦人科、小児科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-14」に示すとおりである。

6) カスキエル保健センター

当該保健センターはマイアンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 40 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 200,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 29,000 人程度となっている。

施設は平屋建の 2 棟構成で、外来一般を扱う主棟と分娩部門を中心とする分娩棟に分かれ、一次医療施設としては大型規模の施設に属する。分娩部門の棟は、1997 年にスウェーデンの援助により建設され、同時に一部の機材（戸棚、器械台、分娩台等）についても整備された。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査、分娩、放射線部門等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-15」に示すとおりである。

7) シガ保健センター

当該保健センターはカゼンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 25 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 50,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 31,000 人程度となっている。

従来は、隣接しているシガ工場（プラスチックバケツやスーパーのビニール袋の製造工場）の検診所であったものを、現在は保健センターとして利用している。施設はしっかりしているが、診療スペ-スが狭く、保健センターでは小型の規模の施設である。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、眼科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、臨床検査等で、同地域の公的診療施設として活動している。現在も X 線診断装置用の部屋を所有するが、装置老朽化の為、15 年前に診断は打ち切られ、数年前に機材は撤去された状態である。

尚、更なる活動概要については、「表 2-16」に示すとおりである。

8)カリアンゴ保健センター

当該保健センターはカゼンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 45 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 70,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 43,000 人程度となっている。

施設は平屋建と 3 階建施設の 1 階部分の一部を薬局として利用している 2 棟構成であるが、保健センターとしては小型規模の施設に属する。平屋建の施設は古く、一部の部屋では雨漏りが発生している。

現行の診療サービスは、内科、救急、産科、小児科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査等で、常駐医師はいないが医師補が中心に診療活動を実施している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-17」に示すとおりである。

9)ネベス ベンディーナ保健センター

当該保健センターはキランバキアシ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 30 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 100,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 29,000 人程度となっている。

施設は平屋建（中庭を囲む構造）の 1 棟構成で、保健センターとしては大型規模の施設に属する。同施設は、隣接しているネベス ベンディーナ火傷病院（60 床）のコンプレックスの一部として位置づけられ、同病院の一次医療サービスを担う役割をもっている。また同保健センターには、大人用 6 床（男女兼用）、小児用 10 床（コット 10 台）の病床を有し、5 日間程度の観察診療を施す観察室がある。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査、放射線部門等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-18」に示すとおりである。

10）サンバ保健センター

当該保健センターはサンバ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 20 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 180,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 24,000 人程度となっている。

現在使用している施設は 2 階建の 1 棟構成で、保健センターとしては小型規模の施設に属している。しかしながら州政府の予算で、既存施設より約 300 メートル程先に大型な新施設（平屋建の 2 棟構成）が建設され、近く移転して診療サービスを開始する予定となっている。現在は、まだ内装工事が残っているが、終了後にはファニチャ-類が整備されるが、新規の医療機材の調達計画はない。

新施設での診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査、分娩、放射線部門等で、同地域の公的診療施設として引き続き活動していくこととなる。

尚、更なる活動概要については、「表 2-19」に示すとおりである。

11）バイロ オペラリオ保健センター

当該保健センターはサンビザンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 15 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 257,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 55,000 人程度となっている。

施設は平屋建の 1 棟構成で、保健センターとしては小型規模の施設である。同施設は、民間企業の寄付により新たに建設されたもので、既存の保健センターの中では比較的新しい施設である。現在も民間企業の協力で、施設の敷地内に臨床検査室の増築計画（図面等のプランは完成）を予定しているが、同企業からの資金協力を未だ受けられず、計画実施の目処は立っていない。

現行の診療サービスは、内科、救急、産科、小児科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種等であるが、臨床検査室の設置に先立ち、既存の施設スペースを割いて臨床検査のサービスを開始したい意向である。

尚、更なる活動概要については、「表 2-20」に示すとおりである。

12）プレンダ保健センター

当該保健センターはマイアンガ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約

15 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 388,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 50,000 人程度となっている。

民家を利用して活動を開始した同施設は、1993 年に現在の建屋（2 階建、1 棟構成）に建替えられた小型規模の保健センターである。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-21」に示すとおりである。

13）キナンガ保健センター

当該保健センターはサンバ郡に配備され、ルアンダ市の中心街より車両にて約 15 分程度の位置にある。地域の対象人口は約 49,000 人、同施設への外来患者数は、年間約 26,000 人程度となっている。

施設は平屋建の 1 棟で、保健センターとしては小型規模の施設に属する。施設の土台基礎の一部が老朽化しているが、施設の建物が数メートル奥に位置する為、今の患者待合スペースとして使用するには問題はない。同施設も幹線道路より、民家の密集する生活道に入った中に立地しているため、車両でのアクセス条件は悪い。

現行の診療サービスは、内科、救急、産婦人科、小児科、薬局、妊婦・乳幼児定期検診、ワクチン接種、家族計画、臨床検査等で、同地域の公的診療施設として活動している。

尚、更なる活動概要については、「表 2-22」に示すとおりである。

表 2-10　イリャア保健センターの活動概要

1．施設規模	大型／平屋建、1 棟
2．配置地域	インゴンボタ郡
3．地域の対象人口	約 62,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、 家族計画、ＥＰＩ、分娩部門、臨床検査部門、放射線部門 等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 43,000 人 9,232 人／年　（約 35 人／日） 6,982 人／年　(約 26 人／日) 2,110 人／年　(約　8 人／日) 12,674 人／年 約 800～900 件／月
6．分娩数	840 件
7．職員数	総数 ：63 人 医師 ：3 人　医師補助 ：2 人 看護婦 ：16 人　X 線技師 ：7 人 助産婦 ：9 人　歯科技師 ：4 人 臨床検査技師：4 人　その他 ：18 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（5,684 人／年）　②呼吸器系（2,536 人／年） ①新生児ケア（2,374 人／年）②呼吸器系（2,374 人／年） ①生殖系（2,110 人／年） （注）上位の病院に移送される重症患者（10 件／月） 上位医療施設名：ガングーラ郡病院、ルクレシアパイム産婦人科病院、ジョシナマシェル総合病院、国立小児病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 20～30 件／日（1999 年）（現在は故障中） 7,800 件／年（約 30 件／日） 987 件／年（3～4 件／日） 958 件／年（3～4 件／日） 1,945 件／年（7～8 件／日） 1,300 件／年（5 件／日）
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計等は看護婦が個人所有のものを自宅から持参して診療に使用している。診察台、滅菌器等の老朽化が目立つ。 本施設では、X 線撮影装置、歯科診療ユニット等を所有しているが故障している。
11．備考	同施設は、10 年前にダイヤモンドの公社により設立され、同時に機材も調達された。

表 2-11　サンビザンガ保健センターの活動概要

1. 施設規模	中型／2 階建、1 棟
2. 配置地域	サンビザンガ郡
3. 地域の対象人口	約 100,000 人
4. 診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、 家族計画、ＥＰＩ、栄養指導、分娩部門、臨床検査部門等
5. 患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 22,000 人 2,600 人／年　（約 10 人／日） 7,800 人／年　(約 30 人／日) 1,040 人／年　(約　4 人／日) 11,000 人／年 －
6. 分娩数	2,500 件
7. 職員数	総数　：200 人 医師　：1 人　医師補助　：－ 看護婦　：27 人　X 線技師　：－ 助産婦　：12 人　歯科技師　：3 人 臨床検査技師：12 人　その他　：145 人
8. 外来主要疾患 成人 小児	 ①マラリア（ 8～10 人／日）　②呼吸器系（3～5 人／日） ③下痢症　（15～20 人／日） ①マラリア（20～30 人／日）　②下痢症（10～12 人／日） ③栄養失調・貧血（12～15 人／日） （注）上位の病院に移送される重症患者（８～10 件／月） 上位医療施設名：ルクレシアパイム産婦人科病院、アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院
9. 主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 13,000 件／年（約 50 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 780 件／年（約 3 件／日）
10. 機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、体重計、滅菌器、機械戸棚等の機材が老朽化している。 分娩部門、歯科診療等のサービスを提供しているため、分娩台、歯科診療ユニット（故障中）の更新が必要である。
11. 備考	同施設の管轄区域内に、大統領基金により新たな施設が建設された。インフラ（給排水・電気）の整備が、まだできてないが建屋は完成している。

表 2-12　ランジェル保健センターの活動概要

1．施設規模	中型／平屋建
2．配置地域	ランジェル郡
3．地域の対象人口	約 80,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、 家族計画、ＥＰＩ、臨床検査部門等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 27,000 人 5,200 人／年　（約 20 人／日） 11,700 人／年　(約 45 人／日) 5,200 人／年　(約 20 人／日) 5,000 人／年 －
6．分娩数	分娩サービスはなし
7．職員数	総数　：76 人 医師　：1+2 人（派遣医）　医師補助　：－ 看護婦　：40 人　X 線技師　：－ 助産婦　：3 人　歯科技師　：1 人(派遣医) 臨床検査技師：10 人　その他　：22 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①高血圧（75 人／月）　②マラリア（30 人／月） ③泌尿器系（30 人／月） ①マラリア（538 人／月）　②呼吸器系（400 人／月） ③下痢症（70 人／月） ①マラリア（40 人／月）　②貧血（25 人／月） ③泌尿器系（20 人／月） （注）上位の病院に移送される重症患者（5～20 件／月） 上位医療施設名：ルクレシアパイム産婦人科病院、アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 13,000 件／年（約 50 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 780 件／年（約 3 件／日）
10．機材整備状況	外来一般診療では、聴診器、血圧計、体重計、診察台、機械戸棚等の機材が老朽化している。 臨床検査部門では検査数の大半を占めるマラリア検査（約 50 件／日）のための顕微鏡、感染症検査のための血沈台（3 件／日）等の機材が老朽化している。
11．備考	特になし

表 2-13　テラノーバ保健センターの活動概要

1．施設規模	大型／平屋建、中庭形式
2．配置地域	ランジェル郡
3．地域の対象人口	約 60,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、家族計画、ＥＰＩ、栄養、ワクチン接種、分娩部門、放射線部門、臨床検査部門等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 104,000 人 33,800 人／年　（約 130 人／日） 44,200 人／年　(約 170 人／日) 7,020 人／年　(約 27 人／日) 18,900 人／年 －
6．分娩数	3,095 件
7．職員数	総数　：209 人 医師　：4 人　医師補助　：－ 看護婦　：119 人　X 線技師　：20 人 助産婦　：13 人　歯科技師　：－ 臨床検査技師：25 人　その他　：28 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（77,807 人／年）　②下痢症（11,703 人／年） ③チフス　（ 5,255 人／年） ①マラリア（92,253 人／年）　②下痢症（12,117 人／年） ③呼吸器系（11,073 人／年） ①マラリア　②貧血　③泌尿器系 （注）上位の病院に移送される重症患者（649 件／年） 上位医療施設名：ルクレシアパイム産婦人科病院、アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 5,200 件／年（約 20 件／日） 65,000 件／年（約 250 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 3,900 件／年（約 15 件／日） 3,120 件／年（約 12 件／日）
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台、滅菌器、機械戸棚等の機材が老朽化している。心電図測定装置を使用した心臓の診療機能を有している。歯科治療ユニットも老朽化しているが抜歯を実施している。 X 線診断装置は 20 年前から使用している。現像は手動式を使用し、フィルム乾燥器も古い機種ながら稼動している。 臨床検査部門では顕微鏡、血沈台、ガラス器具等の機材が老朽化している。
11．備考	1997 年スウェーデンの援助により分娩棟（観察室 1 床、分娩台 2 台、産前 5 床、産後 5 床）が建設された。

表 2-14　カタンボール保健センターの活動概要

1．施設規模	小型／民家を改装
2．配置地域	マイアンガ郡
3．地域の対象人口	約 90,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、薬局、家族計画、ＥＰＩ、臨床検査部門等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 31,000 人 3,120 人／年　（約 12 人／日） 15,600 人／年　(約 60 人／日) 7,800 人／年　(約 30 人／日) 4,500 人／年 5,920 件／年
6．分娩数	分娩サービスはなし
7．職員数	総数　：53 人 医師　：2+2 人（ベトナム人）　医師補助　：－ 看護婦　：25 人　X 線技師　：－ 助産婦　：4 人　歯科技師　：－ 臨床検査技師：8 人　その他　：12 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（1,815 人／年）　②下痢症（　746 人／年） ③チフス　（　311 人／年） ①マラリア（3,292 人／年）　②下痢症（1,390 人／年） ③呼吸器系（1,240 人／年） ①マラリア　②貧血　③泌尿器系 （注）上位の病院に移送される重症患者（20～40 件／月） 上位医療施設名：ルクレシアパイム産婦人科病院、アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 13,000 件／年（約 50 件／日） 1,300 件／年（約　5 件／日） 520 件／年（約　2 件／日） 2,080 件／年（約　8 件／日） 1,300 件／年（約　5 件／日）
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、体重計、診察台の未整備が目立った。 臨床検査部門ではマラリア検査のための顕微鏡等の機材が老朽化している。
11．備考	特になし

表 2-15　カスキエル保健センターの活動概要

1. 施設規模	大型／平屋建、2 棟
2. 配置地域	マイアンガ郡
3. 地域の対象人口	約 200,000 人
4. 診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、家族計画、ＥＰＩ、分娩部門、放射線部門、臨床検査部門等
5. 患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 29,000 人 2,860 人／年　（約 11 人／日） 7,800 人／年　(約 30 人／日) 7,280 人／年　(約 28 人／日) 11,000 人／年 2,000～3,700 件／年
6. 分娩数	1,588 人
7. 職員数	総数　：115 人 医師　：3+2 人（ベトナム人）　医師補助　：－ 看護婦　：39 人　X 線技師　：10 人 助産婦　：10 人　歯科技師　：3 人 臨床検査技師：11 人　その他　：37 人
8. 外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（70%）②下痢症（15%）　③呼吸器系（10%） ①マラリア（70%）　②下痢症（15%）　③呼吸器系（10%） ①マラリア (70%) ②妊娠中毒症（15%）　③肝炎（10%） (注)上位の病院に移送される重症患者（8 件／月） 上位医療施設名：ルクレシアパイム産婦人科病院、アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院
9. 主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 5,200 件／年（約 20 件／日） 13,000 件／年（約 50 件／日） 3,900 件／年（約 15 件／日） 1,300 件／年（約　5 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 1,560 件／年（約　6 件／日）
10. 機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台等の数量が不足している。検査部門ではマラリアなどの検査需要が多く、顕微鏡等の数量が不足している。 X 線装置を所有しているが、自動現像装置は故障中のため手動にて現像している。晴天時はX線フィルムを屋外で乾燥させており、フィルム乾燥器を必要としている。
11. 備考	1997 年スウェーデンの援助により分娩・産科棟が建設。 家族計画のための子宮内避妊具挿入治療（IUD）を実施。

表 2-16　シガ保健センターの活動概要

1．施設規模	小型（隣接工場の旧診療所を利用）
2．配置地域	カゼンガ郡
3．地域の対象人口	約 50,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、歯科、薬局、ＥＰＩ、眼科、臨床検査部門等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 30,000～32,000 人 3,900 人／年　（約 15 人／日） 9,100 人／年　(約 35 人／日) 5,200 人／年　(約 20 人／日) 12,800 人／年 18,000 件／年
6．分娩数	分娩サービスはなし
7．職員数	総数　：34 人 医師　：1 人　医師補助　：1 人 看護婦　：21 人　X 線技師　：- 助産婦　：-　歯科技師　：2 人 臨床検査技師：1 人　その他　：6 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（45%）②呼吸器系（25%）③下痢症（20%） ①マラリア（50%）②呼吸器系（40%）③下痢症（8%） ①マラリア（50%）②貧血（30%）③泌尿器系感染症（20%） （注）上位の病院に移送される重症患者（25 件／月） 上位医療施設名：カジュエイロ郡病院、アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 現在はなし（以前は約 15 件／日） 6,760 件／年（約 26 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 1,300 件／年（約　5 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 1,820 件／年（約　7 件／日）
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台等が老朽化している。 歯科ユニットは故障中。臨床検査部門ではマラリア検査のための顕微鏡等が老朽化している。 以前は X 線診断装置を所有し、放射線部門のサービスを行っていた。
11．備考	臨床検査部門は旧男性用トイレを改装して使用。 本計画によって臨床検査室の設置を検討。

表 2-17　カリアンゴ保健センターの活動概要

1. 施設規模	小型／平屋建および 3 階建施設の 1 階の一部分
2. 配置地域	カゼンガ郡
3. 地域の対象人口	約 70,000 人
4. 診療活動科目	外来一般、内科、救急、産科、小児科、薬局、ＥＰＩ、家族計画、臨床検査部門等
5. 患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 43,000 人 11,700 人／年　(約 45 人／日) 6,500 人／年　(約 25 人／日) 7,800 人／年　(約 30 人／日) 17,000 人／年 2,800 件／年
6. 分娩数	分娩サービスはなし
7. 職員数	総数　：69 人 医師　：－　医師補助　：5 人 看護婦　：36 人　Ｘ線技師　：－ 助産婦　：－　歯科技師　：－ 臨床検査技師：5 人　その他　：23 人
8. 外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（4,289 人／年）　②下痢症（　873 人／年） ③呼吸器系（　633 人／年） ①マラリア（2,301 人／年）　②下痢症（　756 人／年） ③呼吸器系（　473 人／年） ①マラリア（70%）②貧血・高血圧（20%）③呼吸器系（10%） （注）上位の病院に移送される重症患者（30 件／月） 上位医療施設名：カジュエイロ郡病院
9. 主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 10,400 件／年（約 40 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 520 件／年（約　2 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 1,040 件／年（約　4 件／日）
10. 機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台の機材が老朽化している。臨床検査部門ではマラリア検査のための顕微鏡等の機材が老朽化している。
11. 備考	常駐医師はおらず、医師補が中心に診療活動を実施。 産科でのサービスは検診を中心とする。

表 2-18　ネベス ベンディーナ保健センターの活動概要

1．施設規模	大型／平屋建、中庭形式
2．配置地域	キランバキアシ郡
3．地域の対象人口	約 100,000 人
4．診療活動科目	外来一般、救急、産科、小児科、ＥＰＩ、ワクチン接種、放射線部門、臨床検査部門等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 29,000 人 3,900 人／年　（約 15 人／日） 6,500 人／年　(約 25 人／日) 5,200 人／年　(約 20 人／日) 13,400 人／年 500 件／月
6．分娩数	分娩サービスはなし
7．職員数	総数　：157 人 医師　：2+4 人（派遣）　医師補助　：－ 看護婦　：24 人　Ｘ線技師　：10 人 助産婦　：6 人　歯科技師　：－ 臨床検査技師：10 人　その他　：105 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（50%）②呼吸器系（25%）③下痢症（20%） ①マラリア（50%）②下痢症（30%）　③呼吸器系（20%） ①マラリア（50%）②高血圧（20%）　③泌尿器系（10%） （注）上位の病院に移送される重症患者（80 件／月） 上位医療施設名：ジョシナマシェル総合病院、ルクレシアパイム産婦人科病院、キランバキアシ郡産科病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 現在故障中　（需要は約 15～20 件／日） 15,600 件／年（約 60 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日）
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台等が老朽化している。 検査部門ではマラリアなどの検査のための顕微鏡、血沈台等の機材が老朽化している。 現有の X 線装置は、現在故障中。
11．備考	火傷病院のコンプレックスの一部として位置づけられ、同病院の一時医療を担う役割をもつ。

表 2-19　サンバ保健センターの活動概要

1. 施設規模	現施設は小型／新施設は大型
2. 配置地域	サンバ郡
3. 地域の対象人口	約 140,000 人
4. 診療活動科目	外来一般、内科、救急、産婦人科、小児科、ＥＰＩ、臨床検査部門、家族計画等（新施設にて分娩、放射線部門を開始）
5. 患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 24,000 人 6,000 人／年　(約　25 人／日) 12,000 人／年　(約　45 人／日) 6,000 人／年　(約　25 人／日) － 2,500 件／月
6. 分娩数	（新施設に移動後サービスを開始）
7. 職員数	総数　：46 人 医師　：9 人　医師補助　：－ 看護婦　：20 人　Ｘ線技師　：3 人 助産婦　：4 人　歯科技師　：－ 臨床検査技師：10 人　その他　：－
8. 外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（3,800 人／年）　②下痢症（1,200 人／年） ③腸チフス (　600 人／年） ①マラリア（7,200 人／年）　②下痢症（24,000 人／年） ③腸チフス（　240 人／年） ①マラリア (3,000 人／年）　②泌尿器系（1,800 人／年） （注）上位の病院に移送される重症患者（15 件／月） 上位医療施設名：ジョシナマシェル総合病院、ルクレシアパイム産婦人科病院
9. 主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 13,000 件／年（約 50 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日）
10. 機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台の機材が老朽化している。臨床検査部門ではマラリア検査のための顕微鏡、血沈台等の機材が老朽化している。
11. 備考	州政府の予算で新施設がほぼ完成。（平屋建の 2 棟構成） ファニチャー等の整備は、内装工事が終了すると調達されるが、医療機材の調達計画はない。

表 2-20　バイロ・オペラリオ保健センターの活動概要

1．施設規模	小型／平屋建、1 棟
2．配置地域	サンビザンガ郡
3．地域の対象人口	約 257,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産科、小児科、ＥＰＩ、薬局等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 55,800 人 10,400 人／年　(約 40 人／日) 6,696 人／年　(約 25 人／日) 5,088 人／年　(約 20 人／日) 33,600 人／年 約 900～1,800 件／月
6．分娩数	分娩サービスはなし
7．職員数	総数　：47 人 医師　：3 人　医師補助　：- 看護婦　：32 人　Ｘ線技師　：- 助産婦　：-　歯科技師　：- 臨床検査技師：-　その他　：12 人
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（6～8 人／日）　②高血圧（5 人／日） ③結核　（2～3 人／日） ①マラリア（15 人／日）　②下痢症（10 人／日） ③栄養失調（2～3 人／日） ①マラリア (70%)　②泌尿器系（20%）　③高血圧（10%） (注)上位の病院に移送される重症患者（50～80 件／月） 上位医療施設名：アメリコボアビダ病院、ジョシナマシェル総合病院、アウグストガングラ郡病院／産婦人科
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 - - - - - -
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台の機材が老朽化している。
11．備考	臨床検査部門の活動を開始する計画がある。 本計画によって臨床検査室の設置を検討する。

表 2-21　プレンダ保健センターの活動概要

1. 施設規模	小型／2 階建、1 棟
2. 配置地域	マイアンガ郡
3. 地域の対象人口	約 388,000 人
4. 診療活動科目	外来一般、内科、救急、産科、婦人科、小児科、ＥＰＩ、歯科、薬局、家族計画、臨床検査部門等
5. 患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 50,000 人 6,500 人／年　(約 25 人／日) 12,000 人／年　(約 46 人／日) 7,800 人／年　(約 30 人／日) 23,500 人／年 3,000 件／月
6. 分娩数	分娩サービスはなし
7. 職員数	総数　：65 人 医師　：2+3 人（韓国人）　医師補助　：－ 看護婦　：45 人　X 線技師　：－ 助産婦　：　2 人　歯科技師　：－ 臨床検査技師：12 人　その他　：1 人
8. 外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（60%）②呼吸器系（10%）③泌尿器系（8%） ①マラリア ②下痢症 ③呼吸器系で全体の 70%以上を占める。 ①マラリア ②泌尿器系 ③高血圧で全体の 50%を占める。 (注)上位の病院に移送される重症患者（60 件／月） 上位医療施設名：ジョシナマシェル総合病院
9. 主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 26,000 件／年（約 100 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日） 6,500 件／年（約 25 件／日） 5,200 件／年（約 20 件／日）
10. 機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、検診台の機材が老朽化している。 臨床検査部門では、顕微鏡等の機材が老朽化している。 歯科用ユニットは 1 台保有するが、機能の低下が著しい。
11. 備考	1993 年民家を利用していた同施設を、現在の建屋（2 階建、1 棟構成）に新築。

表 2-22　キナンガ保健センターの活動概要

1．施設規模	小型／平屋建、1 棟
2．配置地域	サンバ郡
3．地域の対象人口	約 49,000 人
4．診療活動科目	外来一般、内科、救急、産科、婦人科、小児科、薬局、家族計画、ＥＰＩ、臨床検査部門等
5．患者数内訳 外来患者数 成人患者数 小児患者数 妊婦患者数 その他 ワクチン投与	 約 26,000 人 7,800 人／年　（約 30 人／日） 10,400 人／年　(約 40 人／日) 7,800 人／年　(約 30 人／日) － 1,500 件／月
6．分娩数	分娩サービスはなし
7．職員数	総数　：32 人 医師　：1 人　医師補助　：－ 看護婦　：28 人　X 線技師　：－ 助産婦　：－　歯科技師　：－ 臨床検査技師：3 人　その他　：－
8．外来主要疾患 成人 小児 妊婦	 ①マラリア（15～20 人／日）　②呼吸器系（5～7 人／日） ③下痢症　（3～5 人／日）で全体の 80%を占める。 ①マラリア（70%）　②下痢症（20%）　③呼吸器系（10%） ①マラリア（85%）　②泌尿器系（10%）　③貧血（5%） （注）上位の病院に移送される重症患者（110 件／月） 上位医療施設名：ジョシナマシェル総合病院、ルクレシアパイム産婦人科病院
9．主要検査 X 線検査 マラリア 尿 便 血液 血沈	 － 5,200 件／年（約 20 件／日） 2,600 件／年（約 10 件／日） 1,300 件／年（約　5 件／日） 1,300 件／年（約　5 件／日） 780 件／年（約　3 件／日）
10．機材整備状況	外来診療では、聴診器、血圧計、診察台の機材が老朽化している。 臨床検査部門では、顕微鏡等の機材が老朽化している。
11．備考	産科でのサービスは検診が中心となっている。

(3) 既存機材の現状

計画対象施設における各部門の一般的な既存機材として、以下のものがある。

対象部門	主な既存機材
外来部門	聴診器、血圧計、体重計、検診灯、検診台、診断セット、乾熱滅菌器等
分娩部門	観察用ベッド、分娩台、検診台、吸引器、分娩器械セット、体重計、乾熱滅菌器等
放射線部門	X 線撮影装置、フィルム現像機、暗室用器具等
臨床検査部門	顕微鏡、遠心分離器、赤血球沈降速度測定器、血球計数器、インキュベータ、乾熱滅菌器等

1997 年、分娩部門に対しスウェーデンからの援助があった、テラ ノーバ保健センターとカスキエル保健センターを除く、計画対象施設の既存機材は、調達後、既に 10～15 年以上を経過して機能低下が目立つ老朽化機材が多く、厳しい環境の中で診療活動を実施しているのが現状である。各保健センターの個別の機材整備状況は、表 2-10～表 2-22 に記載のとおりである。

2-6 環境への影響

2-6-1 医療排水

現在、保健センターでの医療排水は、事前処理されることなく公共下水へ放流されている。臨床検査部で採血された検査後の血液、検査室処理液、および X 線フィルムの現像処理液等が何の処理もされないで流されることは、地域の環境汚染に影響を与える可能性が極めて高い。各施設の敷地内に処理設備を設け、処理を施した後下水道に流すことが望ましいが、少なくとも現状の対応手段として、外部の業者に回収・処理を委託すべきである。

2-6-2 医療廃棄物

保健センターにて使用された注射針、ガーゼ、薬剤瓶、及び分娩に伴う胎盤等の医療廃棄物の処理は、公共の収集所に廃棄されている。可燃物については、環境への配慮からも焼却処理が望ましいが、現状の対応として、可燃・不燃物を問わず、外部の業者に回収・処理を委託し、公共の一般ゴミとの分別を進めるべきである。

第 3 章　プロジェクトの内容

第 3 章　プロジェクトの内容

3-1　プロジェクトの目的

「ア」国政府が、「国家保健計画」にて指摘している問題点の中で、特に一次医療レベルでの母子保健医療の改善を 2001 年までの最優先事項として取り組んでいることから、地域住民の一次医療の中核的な施設である保健センターの整備が緊急の課題となっている。

本プロジェクトでは、同国の全人口の 17%近くが集中する、ルアンダ州（首都圏）の保健センタ-へ基礎的な医療機材の整備を実施することで、特に妊産婦および乳幼児に対する一次医療レベルのサービス内容を向上させることにある。

3-2　プロジェクトの基本構想

本プロジェクトの計画対象施設は、公的なレファラル体制下での一次医療施設であるが、既存機材の老朽化によって起こる診療機能の低下、また多くの機材の故障や破損による量的な不足が大きな問題となっている。

このような現実的な問題点を改善し、尚且つ本計画の目的を達成させる為に、本プロジェクトでは医療機材の調達というハード面からの支援を中心に、以下の基本的な構想をもって計画することとしたい。

①計画対象地域の、妊産婦および乳幼児の一次医療レベルでの診療に裨益する医療機材を調達する。

②計画対象機材は、その操作面、及び維持管理面で容易に対応し得るものとする。

③各保健センターが提供している、診療サービス内容に合致した機材調達を図る。

3-3　基本設計

3-3-1　設計方針

(1) 工期に対する方針：

事業の工期は E/N 締結後、1 期 11.7 ヶ月以内とする。

(2) 機能改善を目指す為の機材調達方針：

①各保健センターの規模、活動内容、患者数、疾病傾向等を考慮し、各センターの現状に即した機材仕様、調達数量を設定する。

②整備の対象機材は、老朽化により本来の機能をすでに有さない機材、また量的に現状不足しており、早急に整備が必要とされる機材を原則とする。

③調達機材は新たな要員の確保、並びに操作技術の習得を必要としないものとする。

④調達機材の内容が、他の援助機関あるいは独自調達の計画と重複しないこととする。

⑤保健センターとしての臨床検査レベルを確保する為、一部の施設については臨床検査室の設置を図る。

(3) 機材計画面における設計方針：

高額医療機材（X 線診断装置等）については、「ア」国を一つの市場として経済活動をおこなっている南アフリカ国にある医療機材分野の代理店、および「ア」国にある代理店の活用を可能とする機材計画を図る。

(4) 実施機関の維持管理に対する方針：

①多額な維持管理費や、運営予算を必要としない機材設計に努める。

②国立病院に配属されている維持管理技術者、特にルクレシアパイム産婦人科病院の配属技術者とスタッフを核とし、各保健センターへの巡回メンテナンスにあたらせる体制の再構築を、実施設計時に推進する。

(5) カテゴリー別の設計に係わる考え方

【需要面】

①計画機材は、母子保健医療の改善に重点を置いた、地域の一次医療サービスに供するものであること。

②計画機材は妊婦の分娩、疾病の診断、治療および予防に供するものであること。

③整備の対象は原則、現有する機材のうち老朽化により使用不能に近い状態である機材の更新とすること。

④または量的な不足が明らかで補充を必要とするもの。

【技術面】

①計画機材は特別な医療技術者の養成を必要とせず、現状の要員、技術レベルで対応し得るものであること。

②調達機材は、原則として「ア」国保健省が定める第一次レベルの医療サービス内容に準ずる機材レベルとする。

【財務面】

①計画機材は導入後の運営コストが比較的安価で、州保健局および各計画対象施設が財政的に維持し得るものであること。

②計画の規模は、対象施設の運営管理能力にて対応可能な範囲で、財務的・技術的に、自立発展性を確保し得る範囲であることとする。

【機材調達計画面】

①計画機材には、計画実施後の稼働に必要な消耗品等の配備を計画する。尚、「ア」国の同分野の市場事情を考慮し、少なくとも１年間分に相当する消耗品等の調達を考慮する。

②調達機材の一部には、日本製品との比較で購入単価や輸送梱包費の低減が可能な機材がある。同機材については、南アフリカ国の市場における第３国製品の調達の可能性も含めて計画する。

【インフラストラクチャー面】

①当該保健センターの電力事情に鑑み、小型の発動発電機の配備を計画する。

②電圧の変動による機材の故障を回避するため、一部の医療機器に対して電圧変動に対応し得る AVR（自動電圧安定装置）の配備を考慮する。

【環境面】

①将来における環境汚染の問題を回避するため、臨床検査室にて供される冷蔵庫は非フロンガス規定の冷媒を使用した機種を計画する。

【維持・運営管理面】

①保健省所属の技術者（テクニシャン）、または現地メーカー代理店及び周辺国の代理店が有する維持管理能力で対応し得る機材の調達を図る。

②本計画の実施後、１年間についてはメーカー保証が付いているがその後はメーカー代理店や保健省所属の技術者による巡回メンテナンスサービスを実施すべく保健省に提言する。

③機材の納入・据え付け時には、主要機材に対する操作・維持管理のためのトレーニングを各対象施設の担当者ならびに保健省の技術者に対して開催する。

④機材の取り扱い方法の表示は、原則英語またはポルトガル語とする。但し特に取り扱いに詳細な指示が必要とされる機材についてはポルトガル語のマニュアルを供給することを義務付ける。

3-3-2　基本計画

(1) 全体計画

1) 対象保健センターの検討

「ア」国の首都圏に位置するルアンダ州内には、現在 27 ヶ所の保健センターが配備されている。前述の如く、保健センターレベルの母子保健医療の改善は、現在「ア」国政府が最優先事項として取り組んでいる課題で、一次医療の強化政策の一環として EU の協力により、同州内 5 ヶ所の保健センターの新規建設および既存保健センターの改修、機材整備の支援が決定されている。

保健センターでは、一般外来診療（内科、産婦人科、救急、小児科、歯科、放射線科等)、妊産婦・乳幼児の定期検診、ワクチン投与、血液検査、尿・便の簡易検査等が実施され、更に分娩施設を有するセンターでは、普通分娩を行っている。

このように地域住民に、より広く裨益する PHC の向上と充実は、当該国にとり極めて重要で必要性の高いものである。今般「ア」国政府が、緊急に整備を必要としている優先度の高い保健センターで、且つ EU プロジェクトと重複しない下記 13 ヶ所の保健センターを、本計画の対象施設とする妥当性は非常に高いと判断する。

① イリャア保健センター
② サンビザンガ保健センター
③ ランジェル保健センター
④ テラノーバ保健センター
⑤ カタンボール保健センター
⑥ カスキエル保健センター
⑦ シガ保健センター
⑧ カリアンゴ保健センター
⑨ ネベス ベンディーナ保健センター
⑩ サンバ保健センター
⑪ バイロ オペラリオ保健センター
⑫ プレンダ保健センター
⑬ キナンガ保健センター

2）要請機材の検討

本計画での最終要請機材内容は、「第 1 章の 1-2-2 (2)要請機材」のとおりで、計 60 品目となる。計画対象となる保健センターは、施設の規模に大、中、小とばらつきはあるが、一次医療サービスの提供を目的とする重要な拠点であることから、期待される役割に大きな違いはない。

一般的な見地より要請機材の内容は、一次レベルでの母子保健医療の向上に供する基礎的な医療機材で、診療サービスの改善には必要不可欠な要請といえる。但し、対象施設ごとの機材の選定や数量の設定については、各々保健センターが提供している診療サービス内容と現有機材の状況を踏まえて、現状に合致した機材調達を図る必要がある。

(2) 機材計画

要請機材全般の機材選定と数量設定の評価は、「表 3-1 要請機材の検討表」のとおりであるが、以下の機材については、各々保健センターが提供している診療サービス内容と現有機材の状況を踏まえて、更なる検討を必要する。

1） 個別に検討を要する機材

部門名	機材名
一般外来	歯科用椅子ユニット、 携帯用歯科ユニット
分娩部門	観察用ベッド、婦人科検診台、検診灯、足踏台、器械戸棚、器械台、手洗台、体重計、体重計（新生児用）、乾熱滅菌器、煮沸消毒器、血圧計、聴診器、 分娩器械セット
放射線部門	Ｘ線撮影装置
臨床検査部門	分光光度計
その他	自動電圧安定装置

①一般外来

歯科用椅子ユニット：

歯科の診療サービスを実施している保健センターで、尚且つ歯科用椅子ユニットを現在保有する施設に対し、老朽化した既存台数に応じて更新することとする。これらの対象となる施設は、イリャア、シガ、プレンダ保健センターとなる。

携帯用歯科ユニット：

歯科の診療サービスは実施しているものの、専用の歯科用椅子ユニットを現在保有しておらず、簡易な器具や器械セットにて抜歯治療を実施している保健センターに対し、各１台の調達を計画する。対象となる保健センターは、サンビザンガ、ランジェル、テラ ノーバ、及びカスキエルとなる。

②分娩部門

分娩部門の要請機材（17 品目）のうち、分娩台、吸引器、コット、及び分娩器械セットを除く 13 品目は、外来の産科で供される機材でもあることから、分娩サービスを実施していないランジェル、カタンボール、シガ、カリアンゴ、ネベス ベンディーナ、バイロ オペラリオ、プレンダ、及びキナンガの 8 施設についても、本プロジェクトにて機材整備を計画する。各センターとも産科外来の診察室の機材は、老朽化したものが多く、施設の現有機材の更新を目的とした各々の数量を設定した。

観察用ベッド：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
シガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カリアンゴ	1	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	1
ネベス ベンディーナ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
バイロ オペラリオ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
プレンダ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
キナンガ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-

婦人科検診台：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	4	産科診察室（２台）家族計画室（２台）に現在配置されている４台を更新する。	4
ネベス ベンディーナ	4	産科診察室（２台）家族計画室（２台）に現在配置されている４台を更新する。	4
バイロ オペラリオ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
プレンダ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

検診灯：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を、婦人科検診台とともに更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を、婦人科検診台とともに更新する。	1
シガ	2	産科診察室に現在配置されている婦人科検診台や観察用ベッド用とし２台を更新する。	2
カリアンゴ	4	産科診察室（２台）家族計画室（２台）に現在配置されている４台を更新する。	4
ネベス ベンディーナ	4	産科診察室（２台）家族計画室（２台）に現在配置されている４台を更新する。	4
バイロ オペラリオ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
プレンダ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

足踏台：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	4	産科診察室（２台）家族計画室（２台）に現在配置されている４台を更新する。	4
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室、家族計画室等に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
プレンダ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

器械戸棚：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
プレンダ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
キナンガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1

器械台：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
プレンダ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

手洗台：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
プレンダ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

体重計：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
プレンダ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

体重計（新生児用）：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、２台を更新する。	2
カタンボール	1	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、１台を更新する。	1
シガ	1	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、１台を更新する。	1
カリアンゴ	1	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、１台を更新する。	1
ネベス ベンディーナ	2	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	1	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、１台を更新する。	1
プレンダ	1	予防接種（成長監視）に使用する目的のため、１台を更新する。	1
キナンガ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-

乾熱滅菌器：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
ネベス ベンディーナ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
バイロ オペラリオ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
プレンダ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
キナンガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1

煮沸消毒器：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を、乾熱滅菌器の補助使用を目的とし更新する。	2
カタンボール	1	産科診察室に現在配置されている１台を、乾熱滅菌器の補助使用を目的とし更新する。	1
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を、乾熱滅菌器の補助使用を目的とし更新する。	1
カリアンゴ	2	産科診察室に現在配置されている２台を、乾熱滅菌器の補助使用を目的とし更新する。	2
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を、乾熱滅菌器の補助使用を目的とし更新する。	2
バイロ オペラリオ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
プレンダ	0	現有機材の継続使用が可能で、調達要請がないため計画しない。	-
キナンガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を、乾熱滅菌器の補助使用を目的とし更新する。	1

血圧計：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
プレンダ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

聴診器：

対象施設	要請数	設定数量の根拠	結果
ランジェル	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
カタンボール	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
シガ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
カリアンゴ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
ネベス ベンディーナ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2
バイロ オペラリオ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
プレンダ	1	産科診察室に現在配置されている１台を更新する。	1
キナンガ	2	産科診察室に現在配置されている２台を更新する。	2

また、同部門の機材で分娩器械セットが、ネベス ベンディーナより 12 セット要請されているが、同施設では分娩サービスを実施していない為、調達の対象機材から削除することとする。

③放射線部門

Ｘ線撮影装置：

現在放射線部門を有し、老朽化したＸ線撮影装置を保有しているイリャア、テラノーバ、カスキエル、及びネベス ベンディーナの 4 施設に対し、本プロジェクトにて同機材の更新を図る。

またシガについては、以前Ｘ線撮影装置を保有し、放射線部門のサービスを行っていた経緯があることより、同サービスを再開したい意向が強い。現地調査の結果、患者への需要が高いこと、旧来のＸ線室がそのまま利用可能であること、更にＸ線技師の増員が可能であることが確認されたため、調達の妥当性は高いと判断する。よって本計画にて同サービスの再開を支援することとしたい。

サンバは、新施設への移転が決定しており、新たに放射線部門の開設も決まっていることから、本プロジェクトにてＸ線撮影装置の調達を計画する。

④臨床検査部門

分光光度計：

テラ ノーバの臨床検査技師数は 25 名で、計画対象施設の中では一番多い。同施設は、分光光度計を既存機材として有しているわけではないが、同地域では肝炎が比較的多く、肝機能検査を中心に生化学分野での検査需要が高い。分光光度計の調達は、新規の扱いとなるが、同センター側は、現在の検査技師より何名かを、上位施設等でトレーニングさせることを約しており、要員面での問題はない。これらの状況を総合的に判断すると、本プロジェクトでの分光光度計の調達（1 台）は、その必要性および妥当性が高いと判断する。

ネベス ベンディーナにおける臨床検査部門での技師数は 10 名程度であるが、他の保健センターと比較するとその技術レベルは高い。現有の分光光度計が故障していることで、生化学分野での検査を一時中止しているが、早期に再開したい意向が強い。同施設においても、肝機能検査を中心とした生化学分野の検査需要が高いことより、分光光度計 1 台の更新は妥当であると判断する。

臨床検査室の設置：

本プロジェクトでは、シガおよびバイロ オペラリオの 2 ヶ所の保健センターに対し、以下の理由により臨床検査室の設置を計画する。

検査室が非常に狭小で、機能上に問題のあるシガ保健センターについては、技師の適切な作業スペースの確保、衛生上の問題の改善等を図るべく、臨床検査室の設置を計画する。

臨床検査部門を有しないバイロ オペラリオ保健センターでは、早期に同部門の開設を実現させるべく独自のプランを立てている。しかしながら、同プランの実施に必要となる資金の調達目処が立たず、臨床検査室の設置計画を中断せざるを得ない状況に陥っている。他の保健センターの活動内容からも解るように、地域密着型の一次医療サービスであっても、基本的な臨床検査サービスへの需要は極めて高い。よって本プロジェクトにより支援し、臨床検査サービスを開始し得る環境を整えることは、地域住民への裨益効果も大きい。

⑤その他

自動電圧安定装置：

本装置の調達の必要性と妥当性については、当該地域の電力事情の悪さが現地調査をとおして確認された。各施設からの要請数量（ミニッツ添付の最終要請機材リスト）は、通電して稼動させる下記の機材に対し要請されていた。その後の国内解析作業により、同機器を付属させる対象機材を次の理由により絞り込むことで、調達数量を低減することが妥当であると判断した。

削除理由：A 構造がシンプルで、問題発生時に対処が容易なもの。

B 電圧の変動に対し、耐久性が認められるもの。

【自動電圧安定装置の検討】

AVR要請の機材名	要請数量	削除理由	対象保健センター別調達数量												
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
外来部門															
検診灯	52	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾熱滅菌器	18		2	1	1	2	1	2	1	1	2	2	1	1	1
煮沸消毒器	42	A B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
歯科用椅子ユニット	8		4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0
歯科用X線装置	1	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乾熱滅菌器	6		1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
携帯用歯科ユニット	4		0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
分娩部門															
検診灯	34	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
吸引器	10		2	1	0	3	0	2	0	0	0	2	0	0	0
乾熱滅菌器	16		2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	0	0	1
煮沸消毒器	20	A B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線部門															
X線撮影装置	6	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フィルム乾燥器	6		1	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
臨床検査部門															
双眼顕微鏡	26	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
遠心分離器	14		1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
微量遠心分離器	11		1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0
恒温槽	10	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
インキュベータ	10	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
薬品用冷蔵庫	12		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
乾熱滅菌器	12		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
分光光度計	2		0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合　計	320		16	10	8	16	6	12	9	6	9	11	5	8	3

上記表の検討結果より、各保健センターへの調達数量を以下のとおり計画することとする。

①イリャア　（検討結果 16 台）
②サンビザンガ　（検討結果 10 台）
③ランジェル　（検討結果 8 台）
④テラ ノーバ　（検討結果 16 台）
⑤カタンボール　（検討結果 6 台）
⑥カスキエル　（検討結果 12 台）
⑦シガ　（検討結果 9 台）
⑧カリアンゴ　（検討結果 6 台）
⑨ネベス ベンディーナ　（検討結果 9 台）
⑩サンバ　（検討結果 11 台）
⑪バイロ オペラリオ　（検討結果 5 台）
⑫プレンダ　（検討結果 8 台）
⑬キナンガ　（検討結果 3 台）

2）計画機材の選定

本計画にて調達される最終的な機材の選定は、次の「基本的優先原則・削除原則」に従って実施した。尚、同評価結果の詳細は、「表 3-1 要請機材の検討表」のとおりである。

【基本的優先原則・削除原則】

《 優先原則 》

（1）老朽化した機材の更新となる機材
（2）数量が明らかに不足している機材
（3）保健センターとしての基本的な診療に不可欠な機材
（4）運営・維持管理が安易な機材
（5）裨益効果が多く見込まれる機材
（6）費用対効果が大きな機材
（7）医学的有用性が確立している機材

《 削除原則 》

（1）高額な維持管理費を要する機材
（2）裨益効果が限られる機材
（3）費用対効果が小さな機材
（4）診療ではなく学術的な研究目的の機材
（5）より簡便な代替機材の存在する機材
（6）廃棄物等にて環境汚染が懸念される機材
（7）医学的有用性が確立していない機材
（8）保健センター関係者の個人的な使用目的（医療行為以外）の機材
（9）最低限必要な台数以上の機材（非効率、重複する機材）

現地条件により加味すべき追加優先原則

（1）対象施設の既存技術レベルで運用が可能な機材
（2）対象施設に維持管理要員（外部委託を含め）確保されているか、或いは確保できる見通しがある機材
（3）対象施設の社会的位置付け（レファラル体制、現地ニーズ）に合致する機材
（4）他ドナーとの連携が期待出来る機材

現地条件により加味すべき追加削除原則

（1）現地では予備部品、消耗品の入手が困難な機材

（2）対象施設の既存技術レベルでは運用不可能な機材

（3）対象施設に維持管理要員（外部委託を含め）が確保出来ない機材

（4）対象施設の社会的位置付け（レファラル体制、現地ニーズ）に不的確な機材

（5）設置のために大幅なインフラ整備（水、電気、排水処理他）を必要とする機材

（6）現有の機材の効率的使用方法で対処できる機材

上記過程を経て調達機材の選定を行い、その総合評価を次のとおり示す。

総合評価：○ ･････････ 調達対象とする。

× ･････････ 調達の対象外とする。

表3-1 要請機材の検討表

1．イリャア保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1．外来部門	1-1	聴診器	10	○	○	○														○		○									⑥	④	○	10
	1-2	血圧計	10	○	○	○														○		○									⑥	④	○	10
	1-3	器械戸棚	9	○	○	○														○		○									⑤	④	○	9
	1-4	器械台	9	○	○	○														○		○									⑤	④	○	9
	1-5	検診台	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-6	検診灯	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-7	体重計（成人用）	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-8	体重計（新生児用）	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-9	胎児心音計	2	○		○		○												○	○	○									○		○	2
	1-10	診断セット	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-11	検診用器械セット	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-12	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	1-13	煮沸消毒器	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-14	蘇生器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-15	車椅子	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-16	歯科用椅子ユニット	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	1-17	フィルム現像器	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-18	歯科用X線装置	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-19	歯科用器械セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-20	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-21	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2．分娩部門	2-1	観察用ベッド	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-2	分娩台	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	2-3	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-6	足踏台	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-7	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-8	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-9	手洗い台	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-10	コット	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-11	分娩器械セット	18	○	○	○		○												○		○									④	⑭	○	18

表3-1 要請機材の検討表

1．イリャア保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-13	体重計(新生児用)	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-14	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	2-15	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-16	血圧計	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-17	聴診器	3	○		○														○		○									○		○	3
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	3-2	フィルム現像器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-3	フィルム乾燥器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-4	フィルムハンガー	4	○		○														○		○									○		○	4
	3-5	フィルム保管戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-6	防護エプロン	2	○		○														○		○									○		○	2
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	3	○		○		○												○		○									○		○	3
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	33			○													○	○		○								○			○	16
	5-2	小型発動発電機	3			○		○												○	○	○								○			○	3

表3-1 要請機材の検討表

2. サンビザンガ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-2	血圧計	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-3	器械戸棚	4	○	○	○														○		○									③	①	○	4
	1-4	器械台	4	○	○	○														○		○									③	①	○	4
	1-5	検診台	4	○	○	○														○		○									③	①	○	4
	1-6	検診灯	4	○	○	○														○		○									③	①	○	4
	1-7	体重計(成人用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	2	○		○		○												○	○	○								○			○	2
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-14	蘇生器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-15	車椅子	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-20	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-21	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-22	携帯用歯科ユニット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-2	分娩台	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	2-3	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-11	分娩器械セット	18	○	○	○		○												○		○									④	⑭	○	18

表3-1 要請機材の検討表

2. サンビザンガ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-13	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-14	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	2-15	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-16	血圧計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-17	聴診器	2	○		○														○		○									○		○	2
3. 放射線部門	3-1	X線撮影装置	0																														-	-
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	0																														-	-
	3-4	フィルムハンガー	0																														-	-
	3-5	フィルム保管戸棚	0																														-	-
	3-6	防護エプロン	0																														-	-
4. 臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-6	白血球計数装置、手動型	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5. その他	5-1	自動電圧安定装置	25			○													○	○		○								○			○	10
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

3．ランジェル保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則										
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1．外来部門	1-1	聴診器	10	○	○	○														○		○									⑥	④	○	10
	1-2	血圧計	10	○	○	○														○		○									⑥	④	○	10
	1-3	器械戸棚	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-4	器械台	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-5	検診台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-6	検診灯	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-7	体重計（成人用）	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計（新生児用）	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○								○			○	1
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-14	蘇生器	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-15	車椅子	0																														-	-
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
2．分娩部門	2-1	観察用ベッド	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	0																														-	-

表3-1 要請機材の検討表

3．ランジェル保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則											
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-13	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-14	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	2-15	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-16	血圧計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-17	聴診器	2	○		○														○		○									○		○	2
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	0																														-	-
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	0																														-	-
	3-4	フィルムハンガー	0																														-	-
	3-5	フィルム保管戸棚	0																														-	-
	3-6	防護エプロン	0																														-	-
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	25			○													○	○		○								○			○	8
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

4. テラノーバ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則								優先原則				削除原則										
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	15	○	○	○														○		○									⑧	⑦	○	15
	1-2	血圧計	15	○	○	○														○		○									⑧	⑦	○	15
	1-3	器械戸棚	9	○	○	○														○		○									⑤	④	○	9
	1-4	器械台	9	○	○	○														○		○									⑤	④	○	9
	1-5	検診台	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-6	検診灯	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-7	体重計(成人用)	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-8	体重計(新生児用)	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-9	胎児心音計	2	○		○		○												○	○	○								○			○	2
	1-10	診断セット	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-11	検診用器械セット	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-12	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	1-13	煮沸消毒器	6	○		○														○		○									○		○	6
	1-14	蘇生器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-15	車椅子	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-20	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-21	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-22	携帯用歯科ユニット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-6	足踏台	5	○		○														○		○									○		○	5
	2-7	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-8	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-9	手洗い台	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-10	コット	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-11	分娩器械セット	18	○	○	○		○												○		○									④	⑭	○	18

表3-1 要請機材の検討表

4．テラノーバ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則											
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-13	体重計(新生児用)	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-14	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	2-15	煮沸消毒器	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-16	血圧計	3	○		○														○		○									○		○	3
	2-17	聴診器	3	○		○														○		○									○		○	3
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	3-2	フィルム現像器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-3	フィルム乾燥器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-4	フィルムハンガー	4	○		○														○		○									○		○	4
	3-5	フィルム保管戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-6	防護エプロン	2	○		○														○		○									○		○	2
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	3	○		○		○												○		○									○		○	3
	4-2	遠心分離器	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	1	○		○		○												○		○								○			○	1
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	37			○													○	○		○								○			○	16
	5-2	小型発動発電機	3			○		○												○	○	○								○			○	3

表3-1 要請機材の検討表

5．カタンボール保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則										
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1．外来部門	1-1	聴診器	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-2	血圧計	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-3	器械戸棚	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-4	器械台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-5	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-6	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-7	体重計（成人用）	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計（新生児用）	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○								○			○	1
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-14	蘇生器	0																														-	-
	1-15	車椅子	0																														-	-
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	0																														-	-
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2．分娩部門	2-1	観察用ベッド	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-4	検診灯	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	0																														-	-

表3-1 要請機材の検討表

5．カタンボール保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-13	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-14	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	2-15	煮沸消毒器	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-16	血圧計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-17	聴診器	2	○		○														○		○									○		○	2
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	0																														-	-
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	0																														-	-
	3-4	フィルムハンガー	0																														-	-
	3-5	フィルム保管戸棚	0																														-	-
	3-6	防護エプロン	0																														-	-
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	16			○													○	○		○								○			○	6
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

6．カスキエル保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則										
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1．外来部門	1-1	聴診器	10	○	○	○														○		○									⑥	④	○	10
	1-2	血圧計	10	○	○	○														○		○									⑥	④	○	10
	1-3	器械戸棚	0																														-	-
	1-4	器械台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-5	検診台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-6	検診灯	5	○		○														○		○									○		○	5
	1-7	体重計（成人用）	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計（新生児用）	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	2	○		○		○												○	○	○								○			○	2
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	1-13	煮沸消毒器	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-14	蘇生器	0																														-	-
	1-15	車椅子	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-20	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-21	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-22	携帯用歯科ユニット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
2．分娩部門	2-1	観察用ベッド	0																														-	-
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	0																														-	-
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	0																														-	-
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-11	分娩器械セット	12	○	○	○		○												○		○									④	⑧	○	12

表3-1 要請機材の検討表

6．カスキエル保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-13	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-14	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	2-15	煮沸消毒器	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-16	血圧計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-17	聴診器	1	○		○														○		○									○		○	1
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	3-2	フィルム現像器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-3	フィルム乾燥器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-4	フィルムハンガー	4	○		○														○		○									○		○	4
	3-5	フィルム保管戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-6	防護エプロン	2	○		○														○		○									○		○	2
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	28			○													○	○		○								○			○	12
	5-2	小型発動発電機	3			○		○												○	○	○								○			○	3

表3-1 要請機材の検討表

7. シガ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則・削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	5	○	○	○														○		○									③	②	○	5
	1-2	血圧計	5	○	○	○														○		○									③	②	○	5
	1-3	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-4	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-5	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-6	検診灯	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-7	体重計(成人用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-8	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○								○			○	1
	1-10	診断セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-11	検診用器械セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-14	蘇生器	2	○		○														○		○								○			○	2
	1-15	車椅子	0																														-	-
	1-16	歯科用椅子ユニット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-20	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-21	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-7	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-8	器械台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-9	手洗い台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	0																														-	-

表3-1 要請機材の検討表

7. シガ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-13	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-14	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	2-15	煮沸消毒器	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-16	血圧計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-17	聴診器	1	○		○														○		○									○		○	1
3. 放射線部門	3-1	X線撮影装置	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	3-2	フィルム現像器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-3	フィルム乾燥器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-4	フィルムハンガー	4	○		○														○		○									○		○	4
	3-5	フィルム保管戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-6	防護エプロン	2	○		○														○		○									○		○	2
4. 臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	0																														-	-
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-6	白血球計数装置、手動型	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-7	恒温槽	0																														-	-
	4-8	インキュベータ	0																														-	-
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5. その他	5-1	自動電圧安定装置	19			○													○	○		○								○			○	9
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

8．カリアンゴ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則										
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1．外来部門	1-1	聴診器	5	○	○	○														○		○									③	②	○	5
	1-2	血圧計	5	○	○	○														○		○									③	②	○	5
	1-3	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-4	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-5	検診台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-6	検診灯	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-7	体重計（成人用）	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-8	体重計（新生児用）	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○									○		○	1
	1-10	診断セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-11	検診用器械セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-14	蘇生器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-15	車椅子	0																														-	-
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	0																														-	-
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2．分娩部門	2-1	観察用ベッド	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-4	検診灯	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	0																														-	-

表3-1 要請機材の検討表

8．カリアンゴ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-13	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-14	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	2-15	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-16	血圧計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-17	聴診器	1	○		○														○		○									○		○	1
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	0																														-	-
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	0																														-	-
	3-4	フィルムハンガー	0																														-	-
	3-5	フィルム保管戸棚	0																														-	-
	3-6	防護エプロン	0																														-	-
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-6	白血球計数装置、手動型	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	20			○													○	○		○								○			○	6
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

9．ネベス･ベンディーナ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																	現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則										優先原則				削除原則										
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1．外来部門	1-1	聴診器	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-2	血圧計	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-3	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-4	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-5	検診台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-6	検診灯	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-7	体重計（成人用）	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-8	体重計（新生児用）	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○								○			○	1
	1-10	診断セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-11	検診用器械セット	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-12	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	1-13	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-14	蘇生器	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-15	車椅子	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	0																														-	-
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2．分娩部門	2-1	観察用ベッド	0																														-	-
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-4	検診灯	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	12																						○								×	0

表3-1 要請機材の検討表

9．ネベス･ベンディーナ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-13	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-14	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	2-15	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-16	血圧計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-17	聴診器	2	○		○														○		○									○		○	2
3．放射線部門	3-1	X線撮影装置	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-4	フィルムハンガー	4	○		○														○		○									○		○	4
	3-5	フィルム保管戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-6	防護エプロン	2	○		○														○		○									○		○	2
4．臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-5	自動タイマー	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-6	白血球計数装置、手動型	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	1	○		○		○												○		○									○		○	1
5．その他	5-1	自動電圧安定装置	24			○													○	○		○								○			○	9
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

10. サンバ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	10	○	○	○														○		○									④	⑥	○	10
	1-2	血圧計	10	○	○	○														○		○									④	⑥	○	10
	1-3	器械戸棚	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-4	器械台	6	○	○	○														○		○									④	②	○	6
	1-5	検診台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-6	検診灯	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-7	体重計(成人用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	2	○		○		○												○	○	○								○			○	2
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	1-13	煮沸消毒器	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-14	蘇生器	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-15	車椅子	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	0																														-	-
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	5	○		○														○		○									○		○	5
	2-2	分娩台	2	○	○	○		○												○		○									①	①	○	2
	2-3	検診台	5	○	○	○														○		○									②	③	○	5
	2-4	検診灯	7	○	○	○														○		○									③	④	○	7
	2-5	吸引器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-6	足踏台	6	○		○														○		○									○		○	6
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	4	○		○														○		○									○		○	4
	2-10	コット	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-11	分娩器械セット	18		○	○		○												○		○								○			○	18

表3-1 要請機材の検討表

10. サンバ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-13	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-14	乾熱滅菌器	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	2-15	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-16	血圧計	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-17	聴診器	2	○		○														○		○									○		○	2
3. 放射線部門	3-1	X線撮影装置	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	3-2	フィルム現像器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-3	フィルム乾燥器	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-4	フィルムハンガー	4	○		○														○		○									○		○	4
	3-5	フィルム保管戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	3-6	防護エプロン	2	○		○														○		○									○		○	2
4. 臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	3	○	○	○		○												○		○									②	①	○	3
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	3	○		○														○		○									○		○	3
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5. その他	5-1	自動電圧安定装置	32			○													○	○		○								○			○	11
	5-2	小型発動発電機	3			○		○												○	○	○								○			○	3

表3-1 要請機材の検討表

11. バイロ･オペラリオ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	5	○	○	○														○		○									③	②	○	5
	1-2	血圧計	5	○	○	○														○		○									③	②	○	5
	1-3	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-4	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-5	検診台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-6	検診灯	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-7	体重計(成人用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○								○			○	1
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-14	蘇生器	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-15	車椅子	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	0																														-	-
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	0																														-	-
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	0																														-	-

表3-1 要請機材の検討表

11. バイロ･オペラリオ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-13	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-14	乾熱滅菌器	0																														-	-
	2-15	煮沸消毒器	0																														-	-
	2-16	血圧計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-17	聴診器	1	○		○														○		○									○		○	1
3. 放射線部門	3-1	X線撮影装置	0																														-	-
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	0																														-	-
	3-4	フィルムハンガー	0																														-	-
	3-5	フィルム保管戸棚	0																														-	-
	3-6	防護エプロン	0																														-	-
4. 臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○								○			○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-5	自動タイマー	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○								○			○	2
	4-7	恒温槽	0																														-	-
	4-8	インキュベータ	0																														-	-
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○								○			○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5. その他	5-1	自動電圧安定装置	14			○													○	○		○								○			○	5
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

12. プレンダ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	4	○	○	○														○		○									③	①	○	4
	1-2	血圧計	4	○	○	○														○		○									③	①	○	4
	1-3	器械戸棚	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-4	器械台	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-5	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-6	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-7	体重計(成人用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-8	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-9	胎児心音計	2	○		○		○												○	○	○									○		○	2
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-14	蘇生器	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-15	車椅子	0																														-	-
	1-16	歯科用椅子ユニット	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-20	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-21	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	0																														-	-
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-8	器械台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-9	手洗い台	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	2																						○								×	0

表3-1 要請機材の検討表

12. プレンダ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則															現地条件で加味すべき追加原則										新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
	2-12	体重計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-13	体重計(新生児用)	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-14	乾熱滅菌器	0																														-	-
	2-15	煮沸消毒器	0																														-	-
	2-16	血圧計	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-17	聴診器	1	○		○														○		○									○		○	1
3. 放射線部門	3-1	X線撮影装置	0																														-	-
	3-2	フィルム現像器	0																														-	-
	3-3	フィルム乾燥器	0																														-	-
	3-4	フィルムハンガー	0																														-	-
	3-5	フィルム保管戸棚	0																														-	-
	3-6	防護エプロン	0																														-	-
4. 臨床検査部門	4-1	双眼顕微鏡	2	○		○		○												○		○									○		○	2
	4-2	遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-3	微量遠心分離器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-4	赤血球沈降速度測定器	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-5	自動タイマー	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-6	白血球計数装置、手動型	2	○		○														○		○									○		○	2
	4-7	恒温槽	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-8	インキュベータ	1	○		○														○		○								○			○	1
	4-9	振とう器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-10	薬品用冷蔵庫	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	4-11	乾熱滅菌器	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-12	ガラス器具	1	○		○														○		○									○		○	1
	4-13	分光光度計	0																														-	-
5. その他	5-1	自動電圧安定装置	19			○													○	○		○								○			○	8
	5-2	小型発動発電機	2			○		○												○	○	○								○			○	2

表3-1 要請機材の検討表

13. キナンガ保健センター

対象部門	品番	機 材 名	要請数量	基本的優先原則･削除原則																現地条件で加味すべき追加原則									新規	更新	補充	検討結果	
				優先原則							削除原則									優先原則				削除原則									
				1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6				評価	数量
1. 外来部門	1-1	聴診器	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-2	血圧計	6	○	○	○														○		○									③	③	○	6
	1-3	器械戸棚	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-4	器械台	4	○		○														○		○									○		○	4
	1-5	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-6	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-7	体重計(成人用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-8	体重計(新生児用)	2	○		○														○		○									○		○	2
	1-9	胎児心音計	1	○		○		○												○	○	○								○			○	1
	1-10	診断セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-11	検診用器械セット	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-12	乾熱滅菌器	1	○		○		○												○		○									○		○	1
	1-13	煮沸消毒器	3	○		○														○		○									○		○	3
	1-14	蘇生器	0																														-	-
	1-15	車椅子	0																														-	-
	1-16	歯科用椅子ユニット	0																														-	-
	1-17	フィルム現像器	0																														-	-
	1-18	歯科用X線装置	0																														-	-
	1-19	歯科用器械セット	0																														-	-
	1-20	乾熱滅菌器	0																														-	-
	1-21	器械戸棚	0																														-	-
	1-22	携帯用歯科ユニット	0																														-	-
2. 分娩部門	2-1	観察用ベッド	0																														-	-
	2-2	分娩台	0																														-	-
	2-3	検診台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-4	検診灯	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-5	吸引器	0																														-	-
	2-6	足踏台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-7	器械戸棚	1	○		○														○		○									○		○	1
	2-8	器械台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-9	手洗い台	2	○		○														○		○									○		○	2
	2-10	コット	0																														-	-
	2-11	分娩器械セット	0																														-	-